

寄稿

「市民力の『稔りの秋』」

小田原市長 加藤 憲一

この秋、市民力が花開いたかのように、新しい動きや企画が目白押しとなっています。

早川地域の農業者の皆さんが20年近くグリーンツーリズム事業に取り組んできた、その蓄積の上に、鎧塚俊彦さんの「夜城ヨロイツカファーム」が11月5日にオープン。鎧塚さんが自身の夢の実

現場所として小田原を選んだのは、立地の魅力のみならず、地域の皆さんの熱意の賜物。小田原の素晴らしい可能性が、ここから内外に広く発信されていくことになるでしょう。

富水の「すどう美術館」館長・須藤一郎さんご夫婦らのご尽力で、芸術文化やものづくりに携わる地域の皆さんの



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

力が結集、2年越しの企画「アーティスト・イン・レジデンス」が11月8日から小田原常盤木門などで開催。海外・国内から計12名の芸術家が小田原に滞在し制作。市内の作家や児童らとも交流、小田原の芸術文化を育てる上で貴重な機会となりました。

無尽蔵プロジェクトの「環境シテイ」チームに参加する諸団体が、大掛かりなイベント「おだわら環境志民フォーラム」を11月19日・20日に開催。森・里・海をつなぎ、生態系回復と持続可能な社会実現への志が共有され、元来豊かですべての要素が揃

私が変わる・小田原が変わる

おだわらを拓く力
(加藤けんいち後援会)

小田原市栄町2-13-1-2F
TEL.0465-21-5260
(月・水・金 10:00~17:00)
<http://www.katoken.info>